



日刊 日七十月七
日刊 日七十月七
日刊 日七十月七

常識講座

インテリは智識階級の
課だがいんてりせんサ
一と云へば通知人また
は密偵でインテリセン
ス・オフィスは職業紹
介所とか口入屋、イン
テレリストなら興味或は
關心を指しての意だ

豊間漁港の續工陳情

前集午前六時、歸りは午後
四時半の豫定の由で總勢五百
人に送するらしく雨天の際は
順延である

石城の校長會

石城郡教育會では夏季休暇
中の來月四日から三日間東京
高師教授肥後和男氏を講師に
聘し平市第一講堂に於て國史
教授の講習會を催すと

老賊に懲役二年

信大小僧と云はれる老賊前科
二十四犯の信大郡坂生れ佐
高 白梅便箋
級 忠孝便箋
用 文鳥便箋
便 名作書箋
箋 文鳥便箋
名作書箋

二坑夫落盤死

石城郡内郷村の磐城炭礦住吉
坑×夫菊地庄司(三三)及び同佐
藤安善(三三)は去る十五日午後
四時頃同坑内に於てモーター
取脱し作業中落盤に遭つて即
死した

強盗未遂の公判

石城郡好間村の山道で小娘を
襲つた強盗未遂犯人同村下好
間字一町野無藤渡邊竹次郎假
(三〇)名は十七日の公判で檢
事の求刑三ヶ年言渡は廿一日

各派の妥協成る 平市會の構成

近く愈よ新議員の初市會か 平和を破る者あれば決戦

平市會は議長及び副議長並に
市参事會員等の役員を制振り
に各派の交渉の整ふのを待た
れてゐるが該妥協は大體纏つ
たらしく近く新議員の初市會
を招集される模様である仄聞
するところによれば右交渉の
落着は舊政友系から井上氏を
議長に推し民政野崎派の野崎
滿藏氏を副議長に参事會員は
新政友系、民政救原派、中立
等より夫々公平に推舉せんと
するもので尙ほ此の果に對し
風波を起し漁夫の利を得やう
とする野心家も見えてはゐる
が野崎氏には先輩井上氏に席
を譲る雅量こそあれ人の爲め
に職を設け様とすることに勿
論賛成ではなく大勢の意向は
既に決し斯て野崎滿藏氏を
議長に推して市長に推され
るものゝ如くであるが總てを
平和に收め様とする此の協調
が萬一破綻されるが如き場合
は舊政系八名に民政救原派及
び中立の各四名が結束する絶
對多數を以て決戦投票に出づ
るも余儀なしとされてゐるの
で世上極々なデマが飛ぶやう
な破綻はあり得ないと思はれ
てゐる尙ほ各派の陰謀を上げ
れば左記の如く云はれてゐる

市役所前通の舗装 来る廿日から着手

全部の竣功は九月頃 両側の歩道工事から

平野貨物ホーム入口から才樋
小路に至る駅前大通りの道路
舗装は平市誕生の記念事業と
して施行の準備中である歩道
道の境に樹つ電柱移轉も北側
の電燈柱を全部完了し南側の
警察電話と通信省の電柱の
移轉だけが残りこれも近く移
柱に着手されるので舗装工事
は北側の歩道から来る廿日頃
より起工の筈であるが同工費
は總額四千九百圓で中央に中
四間の車道を設けて兩側に十
尺乃至二間歩道の歩道が出来
見事なもので最終に残す中央
の車道は絶えず路面均しを行
ひ自然順應で路警頭めをなし

創立總會

明日第一夜にて 平市の聯合青年團創立總會は 明日十八日午後二時から第一小 學校講堂に於て舉行、團別制 定役員の選任を決せられるが 舊青年團はこれに先立ち 午後一時臨時總會を開いて解 散式を舉げ一同の記念撮影を なすと

金壹百圓

高階夫人の献金 平市字四軒町高階炭礦×主夫 人高階ふみ子さんは今十七日

お守護札

奇特な横山きくさん 平市字仲間町五六横山きくさ んは市内出身在滿將兵のため 舊相馬藩の武神縣社小高神社 に武運長久を祈り「お守護札」 百体をうけ今十七日市役所に 慰問送付方を願出た

軍部から 大量注文

平鐵工組合へ 平鐵工機械工業組合は履報の 如く一昨年の組合創設以來異 常な躍進を見せ海軍省から派 遣常駐の山本技術官により軍 需物資の規格検査及び指導 を受けつゝあるが今回また海 軍工廠から部分品二萬圓分の 大量注文を受け目下製作を急 いでゐるが同軍需品納入の下 命は本縣下各組合に於ける最 高の量である

町青年會の 恒例園遊

明日新舞子で 平市の町青年會では恒例の 夏季園遊會を明日十八日新舞子 の勝景地に開催し町内在營軍 人五家族の慰安を兼ねて川地 曳に獲たる鮮魚料理を肴に各 自々辦の盃食をすまし賞品山 積する運動競技や福引その他 の余興を加へ一日の清遊をな す筈だが出發は同町山宗酒店

小名濱町々會 宣誓式

石城郡警備隊は昨十一年度履 済更生村に指定されたが今十 七日午前九時同村高等學校に 委員その他殆んど全村民を會 して宣誓式を舉げた

夏作蔬菜品評 會

石城郡夏井村で夏作の立毛品 評會を開催し近年漸次好成绩 を上げてゐる胡瓜、茄子、南 瓜、トマト等につき郡農會か ら来る十九日青山技師出張審 査をなすと

平遞友クラブ 信野球戦に出發

通信野球大會は明日十八日福島 市營球場で縣下豫選の合戦を 行はれるが榮冠を目指して猛 練習を經たる平遞友クラブは 今十七日渡邊監督に引率され 午前十一時平遞渡で出福した 前記の試合は福島、若松、郡

文化映画の夕

明夜樂樂館で 平市一丁目坂本紙店その他に 販賣店をもつ東京眞崎大和鉛 筆會社が顧客慰安に催される 「文化映画の夕」は明日十八日午 後六時から樂樂館に開場され るが上映プログラムは左記の 如くである

修養會

十九日から三日間 平市の磐城家政學園では明後 十九日から二十一日に至る三 日間東部の財団法人修養園郡 山支部長松山政治氏を招聘し 園生一同の精神教育の爲め起 居を共にする修養會を催され るが松山講師は本園の評議員 で郡山市幼稚園並に子守學校 々長を兼ね修養界に知名の氏 である尙ほ右の修養會には一 般婦人の入會(男子は晝間の み)をも歓迎し會費は二泊三 日間で白米一升と金廿圓の由

夏季休業講習會

縣下小學校教員の今夏季休業 講習會は来る八月十四日から 三日間福島市に開催の筈で石 城教育會部會に五十名の入會を

國史教授講習

石城郡教育會では夏季休暇 中の來月四日から三日間東京 高師教授肥後和男氏を講師に 聘し平市第一講堂に於て國史 教授の講習會を催すと

老賊に懲役二年

信大小僧と云はれる老賊前科 二十四犯の信大郡坂生れ佐

強盗未遂の公判

石城郡好間村の山道で小娘を 襲つた強盗未遂犯人同村下好 間字一町野無藤渡邊竹次郎假 (三〇)名は十七日の公判で檢 事の求刑三ヶ年言渡は廿一日

二坑夫落盤死

石城郡内郷村の磐城炭礦住吉 坑×夫菊地庄司(三三)及び同佐 藤安善(三三)は去る十五日午後 四時頃同坑内に於てモーター 取脱し作業中落盤に遭つて即 死した

今晩も明日も南東の風、曇

(晴雨模様)(小名濱測候所)

農業方面

桃の栽培 (豊)

縣農試石 城分場長 齋藤技師

果實は往々裂開する、枝梢には初めその表面に紫褐色圓形の斑點が出来て後には紅褐色次へで黒褐色となりて少しく隆起し表面に黒色の斑點(分生胞子塊)が密生するに至る、葉では初めその表面に圓形褐色の斑點が出来てこれ以後には多く脱孔する、病菌發育の最高温度は攝氏二十度二十七日、最低は二度最高は三十二度である、寄生力は弱く接種後一、二ヶ月の後に發病する、病菌は分生胞子又は菌糸の形で枝梢の病患部で越冬する、防除法としては病枝を除去して焼却すること、袋掛けを行ふこと、落花二、三週間後にカゼイン石灰加用風化石灰硫黄合劑を撒布すること、發芽前にもボーノ比重五度内外の石灰硫黄合劑を撒布すること等があげられる、

(一)害虫、桃の害虫の主なるものは心喰虫、心折虫、▼虫、葉潜蛾、象鼻虫、介殼虫、小透羽等である、

1、桃の心喰虫(ゴマタラマイガ) 鱗翅目螟蛾科に屬するものである、一年二回の發生で冬は老熟した幼虫で繭の中に越冬し第一回の成虫は六月上旬中旬に出現し夜間活動して産卵する、多くは一粒づつで孵化すれば果肉内にくひり外部に粒状の糞を排出し成長すればこの糞を枝の間に糸で綴り果實の落下するのを防ぐ卵期は約八日、幼虫期は約二十日、弱蛹期は十五、六日である、

藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

正確なる 体温計
寒暖計 (種各)
計量器指定販賣
平市五丁目角
山野邊藥局

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 用命は **三三三屋** 平市 田町

◆一般印刷物も
印刷受致します
新しいわき新聞社
印刷部

目科療診

一、齒科 一般
保存科、補綴科、鑲齒工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿腫科

二、口腔外科
一、レントゲン科

平市田町 (松月堂向ひ) **中野齒科醫院**

院長 日本齒科 醫學士 中野 誠
日本齒科 醫學士 西野 次
電話五〇九番

料理 井 出

壽司 料理 仕出し

水久喜 町南市平 番八二七話電

專 門 皮 膚 科
性 泌 尿 器 科
病 科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番

院醫尻江

内 科、小兒科

大森醫院

醫學士 大森 勇

應入院 幣幣
平市田町 電話二五八番

債券 公債 兩替 金融

多田井質店

平市大工町 電話五九一番

齒科開業

此の度左記の處に診療所を開業仕り候間此段御通知申上候

目科療診 口腔外科、補綴科、保存科、齒列矯正科、小兒齒科、(其他齒科一般)

平日晝夜診療 日曜午後休み

平市田町(藤田女學校前) **齋藤齒科醫院**

東京齒科 醫學士 齋藤 賢三

1937のアラモード 豊富陳列

海 海 海水着 海水帽子

御贈答品ハ 重寶…便利な **商品切手** の御利用を! 其の他實用品色々

ツルヤ洋品店 電話 140

産科、婦人科専門

根本醫院 (平市南町) 電話三四番

病室入院隨時 根本庄次郎
増築手術室完備 根本貞雄

便利で 經濟な **日下家政婦會** の 派出婦を御利用 下さいます 身元確からず品行方正ですから 何をお任せしてもご安心です

會員(同志)の 加入を御誘ひ 致します 御加入を 御誘ひ 致します 御加入を 御誘ひ 致します

◎ **日下家政婦會** 會長 日下すい子 電話 七二三番

和洋金銀 高貴之 寶物 高貴之 寶物 高貴之 寶物

良品 高貴之 寶物 高貴之 寶物

平病院 (平市元共濟病院跡) 電話六四一番

院長 醫學博士 鈴木定藏

內科 院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科 醫學士 木下基一
皮膚泌尿器科 部長 醫學士 池谷宗三郎
一般外科 部長 醫學士 鈴木定藏
レントゲン科 部長 醫學士 鈴木定藏
物理療法科 技師 岡田重德
藥劑師 部長 藥劑師 吉本幸平

診療時間 毎日午前八時より午後九時止 夜間診療に従事す(急患は此限にあらず)

往診隨時、病室完備 (自炊の便あり)